

科目名称：	旅程管理研修	
担当者名：	若月 博延	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>主催旅行の主任添乗員になるために必要な資格である、旅程管理主任者の取得を目指します。とくに旅行会社での就業経験のない学生では、国内旅行の際に必要な国内旅程管理主任者の合格を狙います。</p> <p>夏季休暇期間中（8月上旬）の5日間実施します。</p> <p>旅程管理研修は法律に基づく研修のため、遅刻、早退、欠席は一切認められません。</p> <p>また、研修時はスーツの着用が義務となります。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>国内旅程管理者資格の取得。</p> <p>※スケジュールは以下のとおり</p> <p>●1日目 基礎講習1（9：30～17：30） ●2日目 基礎講習2（9：30～17：30）</p> <p>●3日目 指定講習1（9：30～18：00） ●4日目 指定講習2（9：30～18：00）</p> <p>●5日目 指定講習3（9：30～18：00） 後日、研修についての報告会を行います。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	0	30	20	50	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
添乗のマナー	正しいマナーを完全に身に付け理解できている	ある程度正しいマナーを身に付け理解できている	少しは正しいマナーを身に付け理解できている	正しいマナーを身に付け理解できているとはいえない
添乗の知識	正しい知識を完全に身に付け理解できている	ある程度正しい知識を身に付け理解できている	少しは正しい知識を身に付け理解できている	正しい知識を身に付け理解できているとはいえない
添乗の体験	身に付けたマナーと知識を完全に活かした	身に付けたマナーと知識をある程度活かした	身に付けたマナーと知識を少しは活かした	身に付けたマナーと知識を全くは活かさなかった
添乗のレポート	具体例を参照し、新しい店、体験をレポートできた	具体例を参照し、店、体験をある程度レポートできた	具体例を参照し、店、体験を少しはレポートできた	具体例を参照しても、店、体験を全くレポートできなかった

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 基礎講習1(1日目) オリエンテーション、添乗業務の現状、添乗員の役割	シラバスを精読しておき、添乗業務について予習する。	20分
第2回 基礎講習1(1日目) 添乗員の役割、旅行形態、用語の定義	シラバスを精読しておき、添乗業務について予習する。	20分
第3回 基礎講習1(1日目) 添乗業務の流れ、添乗業務Ⅰ、添乗業務Ⅱ	シラバスを精読しておき、添乗業務について予習する。	20分
第4回 基礎講習2(2日目) 旅行業法・旅行業約款、旅程管理とは	旅行業について予習する。	20分
第5回 基礎講習2(2日目) 接客マナーの基本Ⅰ、接客マナーの基本Ⅱ	接客マナーについて予習する。	20分
第6回 基礎講習2(2日目) 添乗業務内容の発表(ロールプレイ:グループワーク)	添乗業務について予習する。	20分
第7回 指定講習1(3日目) 旅行業法(ロールプレイ:グループワーク)	旅行業法について予習する。	20分
第8回 指定講習1(3日目) 旅行業約款(ロールプレイ:グループワーク)	旅行業約款について予習する。	20分
第9回 指定講習1(3日目) その他の約款や法令(ロールプレイ:グループワーク)	約款・法令について予習する。	20分
第10回 指定講習2(4日目) 消費者保護法、個人情報保護法など(ロールプレイ:グループワーク)	消費者保護法・個人情報保護法について予習する。	20分
第11回 指定講習2(4日目) 添乗員の役割、添乗員の基本的要件、出発前の準備(ロールプレイ:グループワーク)	添乗員について予習する。	20分
第12回 指定講習2(4日目) 日帰りバスツアーについて、宿泊を伴うコースについて、JRを伴うコースについて(ロールプレイ:グループワーク)	ツアーについて予習する。	20分
第13回 指定講習3(5日目) 帰着後の業務等、事故トラブル等・旅行傷害保険(ロールプレイ:グループワーク)	帰着後の業務、トラブル・保険について予習する。	20分
第14回 指定講習3(5日目) JR・航空団体の基本知識、旅行業界用語の問題(ロールプレイ:グループワーク)	JR・航空団体、業界用語について予習する。	20分
第15回 指定講習3(5日目) 国内旅程管理研修試験について(ロールプレイ:グループワーク)	今までの総復習をしておく	20分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
 ロールプレイ等でのアクティビティ50%、宿題・提出物20%、小テストの成績30%で評価する。

課題に対するフィードバック

ロールプレイをルーブリックで評価し返却。

教科書・参考書

教科書：『旅程管理研修 基礎・国内』（JTB総合研究所）
 ※毎回の授業で使用する